

第6学年 家庭科 学習指導案

令和5年9月7日（木）5校時
東久留米市立第三小学校
6年2組 28名 指導者

【校内研究主題】

思考したことを豊かに表現する児童の育成 ～ICT機器の効果的な活用を通して～

1 単元名（単元全体の時間数）
クリーン大作戦（全8時間）

2 単元の目標

- ・住まいのそうじの必要性に気付き、そうじの仕方について考え、汚れの特徴を知り、課題を見直すことができる。
- ・場所ごとの汚れや特徴を考え、汚れやごみを少なくするために、生活の仕方やそうじの仕方を見直す。
- ・汚れやごみの種類、その場所にあったそうじの仕方を考えて計画を立て、工夫をして掃除をすることができる。
- ・そうじの仕方についての活動を振り返って、評価・改善し、課題を解決する力を身に付け、生活を改善し、実践しようとする。

3 単元の評価規準

A 知識・技能	B 思考力・判断力・表現力	C 主体的に学習に取り組む態度
・住まいの清掃の仕方を理解しているとともに、適切にできる。	・住まいの清掃の仕方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・家族の一員として、生活をよりよくしようと清掃の仕方について課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

4 目指す児童像にせまるための手立て

表現×場面分科会	目指す児童像	目的や相手に合わせて、適切な内容や方法で自分の考えを表すことができる児童
----------	--------	--------------------------------------

①見通しとふり返りの充実

本単元では児童が家庭できれいにしたい場所を見つけ、適切な掃除の仕方を調べたり試したりする中でよりよい清掃方法を実感し、友達とその方法を共有することで家庭や学校などの様々な場所の掃除の仕方についてわかり、「自分でもこれから試してみよう」という日々の生活に生かしていこうとする実践意欲が高まっていくことをねらいとしている。そこで単元の導入にあたっては、単元終末におけるそれらの目標を明示し、それまでの過程を示したワークシートを活用することで、自分が調べたことを発表すること、友達の発表を聞いて共有することの意味を理解し、学習の見通しを

クリーン大作戦 6-

ミッション④ クリーン大作戦実行計画を立てよう！
汚れをどこまできれいにするのが、目標を定めて！

ミッション⑤ クリーン作戦のレポート計画を立てよう！
① どの方法でレポートを作るの。
② レポートの内容（何とどんな方法で）

家庭科「のびー」大作戦
6年()組 氏名()

お家でできれいにしたいところを思いついて、きれいにする「クリーン大作戦」はじめてみましょう。昼休み中に取り組み、きれいな場所を記録したりまとめたりしていきましょう。

場所

よごれの種類

どうしてその場所をきれいにしたいと思ったのか

もてるようにした。

また、毎時間の学習を発表の場面を意識してふり返らせていくことで、「自分の発表に足りない部分はどこか」「友達によりよい掃除の仕方を分かっただけのために、どのような発表内容にすればよいか」ということを考えながら次時以降の学習に臨めるようにした。

②児童の「得意」と学習の「目的」に応じた表現方法の選択

単元終盤の友達と共有する場面においては、自分がきれいにした場所やその掃除の仕方の紹介を、児童1人1人が多様な方法の中から選択できるようにする。発表内容や方法を選択させる際には、学習の目的に沿った形で児童が自分の得意としている表現方法を適切に選べるようにする。

まず学習の目的を意識できるように、単元の導入において「同じクラスの友達と共有すること」「様々な場所の掃除の仕方がわかって、明日から自分でもそうじをやっていこうとする気持ちがお互いに高まっていくこと」という伝える相手と目的を明示する。

また、自分の得意が自覚できるように、事前にさまざまな教材や学習形態、学びの筋道やメディアを用いた学習を数多く経験することにより「自分にはこのやり方が合っているし、このやり方でならうまく学べる」という自己認識が形成される機会を設けるようにする。

③より多くの実践報告を聞くための発表形態の工夫

先述した通り、本単元を学習した後は児童一人一人が掃除や美化への意識を高め、自らの実生活をよりよくしていこうとする実践意欲を高めていけるようにしたい。そこで、一人一人の掃除についてまとめた「実践レポート」の形式は児童によって自由に選んで作成させるが、発表・交流の場面では、できるだけ多くのそしてその子の家庭生活や興味・関心にあった実践報告を聞くことができるようにする。具体的には、動画やパワーポイント、紙ベースのレポートなど、様々な形式の実践レポートを一旦パワーポイントに保存させ、児童一人一人が自席から自分のタブレットで視聴できるようにする。

さらにタブレットで視聴する前に全員がどんな汚れ・場所をきれいにしたのかを簡単に紹介する活動を行い、情報を共有したうえで、興味関心をもった実践報告を選んで視聴する。多くの実践を選んで視聴することで、より実践意欲が高まると考えた。



5 単元の指導計画（全8時間）

	時間	○主な学習活動	・指導上の留意点 ◇評価規準（評価方法）
第1次 【汚れウォッチング】	①	○学校で汚れているところを探し、どんなところにどんな汚れがあるか話し合う。 ○学校で見つけた汚れはどんな方法できれいになっているか、また、どんな方法できれいになりそうか考え、発表し合う。 ○自分の家の汚れ探しをする（宿題）	◇学校の汚れに興味をもち、どんなところが汚れやすいか、どんな汚れがあるか考えている。【思】（発言・ノート） ◇学校の汚れをきれいにする方法について、経験から考えている。【思】（発言・ノート） ◇家の汚れ探しに意欲的に取り組んでいる。【主】（ワークシート） ・あらかじめ家の人に協力をお願いしておく。家の人に相談しながら進めるように事前指導する。
第2次 【クリーン作戦の計画を立てよう】	② ③	○見つけた家の汚れの種類について話し合う。 ○汚れの種類と、その汚れを落とす方法を調べる。 ○調べた方法で掃除をする計画を立てる。	◇汚れの種類やきれいにする方法について、インターネットなどを利用して調べ、適切に情報を選んで記録している。 【知・技】【思・判】（ワークシート） ・情報の選択の手掛かりにできるように、調べるポイントを示す。 ◇そうじをする際の注意点や手順などを考えながら計画を立てている。 【思・判】（ワークシート） ・安全面での留意点（洗剤や薬剤の取り扱いや適切な道具の使い方など）については、児童任せにせず指導する。
	④	○実践したことを報告するためのレポート作りの計画を立てる。	◇レポートのまとめ方について、それぞれのよさを理解し、適切な方法を自分で選んでいる。【思・判】（ワークシート） ・どのようなまとめ方があるか考えさせ、それぞれの特徴やよさについて指導する。 ・レポートにまとめる時の観点を示し、それに沿って計画を立てさせる。
第3次 【クリーン作戦を実行しよう】		○自分が調べた方法で、汚れをきれいにする。（実践） ○実践したことをレポートにまとめる。（実践とレポート作りは夏休みの宿題で行う。）	◇自分で調べた方法を使ってすすんでそうじをしている。 【知・技】（ワークシート、レポート） ◇実践したことを自分なりに工夫し、レポートにまとめている。 【思・判・表】（ワークシート、レポート）
	⑤ ⑥ 《本時》 ⑥ ⑦ ⑧	○作成したレポートを見直し、発表のための準備をする。 ○まとめてきたレポートを発表用のパワーポイントに仕上げる。 ○レポート発表のハイライトを紹介する。 ○興味をもった発表を選んで、タブレットで発表を視聴し、感想や意見などを記入する。	・より多くの友達に発表を聞いてもらい、聞きたい発表を聞けるようにパワーポイントで仕上げることを確認する。 ◇レポートを見直し、必要に応じて加除訂正や修正、新たな工夫などを行っている。【主】 【思】【技】（作業の様子・レポート） ・全員の発表内容を知り、視聴するレポートを選ぶ参考になるように簡単な紹介をさせる。 ◇観点に沿って、わかりやすく発表している。 【表】【主】（発表の様子） ◇自分なりのめあてをもって動画を選び、発表をしっかりと聞いて、すすんで感想や意見を書いている。 【主】【表】【思】（視聴の様子、感想の記入）

6 本時（6時間目／全8時間）

(1) 目標 発表を視聴する相手を意識して、自分の実践をわかりやすく伝えるためのパワーポイントを作製する。

(2) 展開

	○主な学習活動 ・ 予想される児童の反応	◇指導上の留意点 【評価規準】(評価方法)
導入 (5分)	<p>○本時のめあてを確認する。</p> <p>(めあて) 友達にわかりやすく伝えるために、実践レポートに解説をつけたパワーポイントを作ろう。</p> <p>○本時の流れを知る。</p>	<p>◇音声の録音が主な作業になるため、7教室に分かれて作業すること、作業中の注意点について指導する。</p>
展開 (35分)	<p>○夏休み中に作製したレポートをもとに、解説をつけ、パワーポイントを作製する。</p> <p>○出来上がった児童や作製が進んでいる児童のパワーポイントを紹介する。</p>	<p>◇レポートをパワーポイント以外の方法で作製している場合は、画像を撮ってパワーポイントに貼り付けさせる。</p> <p>◇直接の発表ではなく、タブレット上での発表であることを押さえ、視聴する相手を意識させる。</p> <p>◇作業の様子を巡視しながら、進捗状況を見取り、必要に応じてアドバイスする。</p> <p>◇ねらいに沿って作製できているものを紹介することで、苦勞している児童が参考にできるようにする。</p> <p>◇全体的に作業が進まなかったり、活動の理解が十分でなかったりする場合は、集合を掛け、指導する。</p>
まとめ (5分)	<p>○本時の振り返りをする。</p> <p>・発表相手を意識して、解説を付けられたか。</p> <p>・必要に応じて加除訂正や、修正・改善ができたか。</p> <p>○発表に向けての確認をする。</p>	<p>【思】発表相手を意識して加除訂正や修正・改善をしたり、解説を付けたりしている(作業の様子・レポート)</p>